

# 地元企業の景況 第55号

郡上市八幡町新町961番地  
八幡信用金庫  
総務・企画本部  
TEL (0575) 65 - 3407  
FAX (0575) 66 - 2252

## < 業況判断 >

### 今期業況悪化、来期は更に悪化予想

#### 今期(平成20年10~12月期)

1. 今期の業況判断D.I.は 54.5と前期(平成20年7月~9月期) 44.6に比べ9.9ポイント悪化。
2. 飲食業、卸売業、農業、サービス業、建設業で改善が見られたものの、小売業、不動産業、製造業で悪化。業況は引き続き厳しい状況にある。

#### 来期(平成21年1~3月期)

1. 来期の業況判断D.I.は 66.5と今期 54.5に比べ12.0ポイント悪化予想。これは本調査開始以降最悪の水準である。農業、小売業で回復するも、その他の業種で悪化予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	前期 H20年 7~9月	今期 H20年 10~12月	来期 H21年 1~3月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30	特に好調 30 DI

## 調査概要

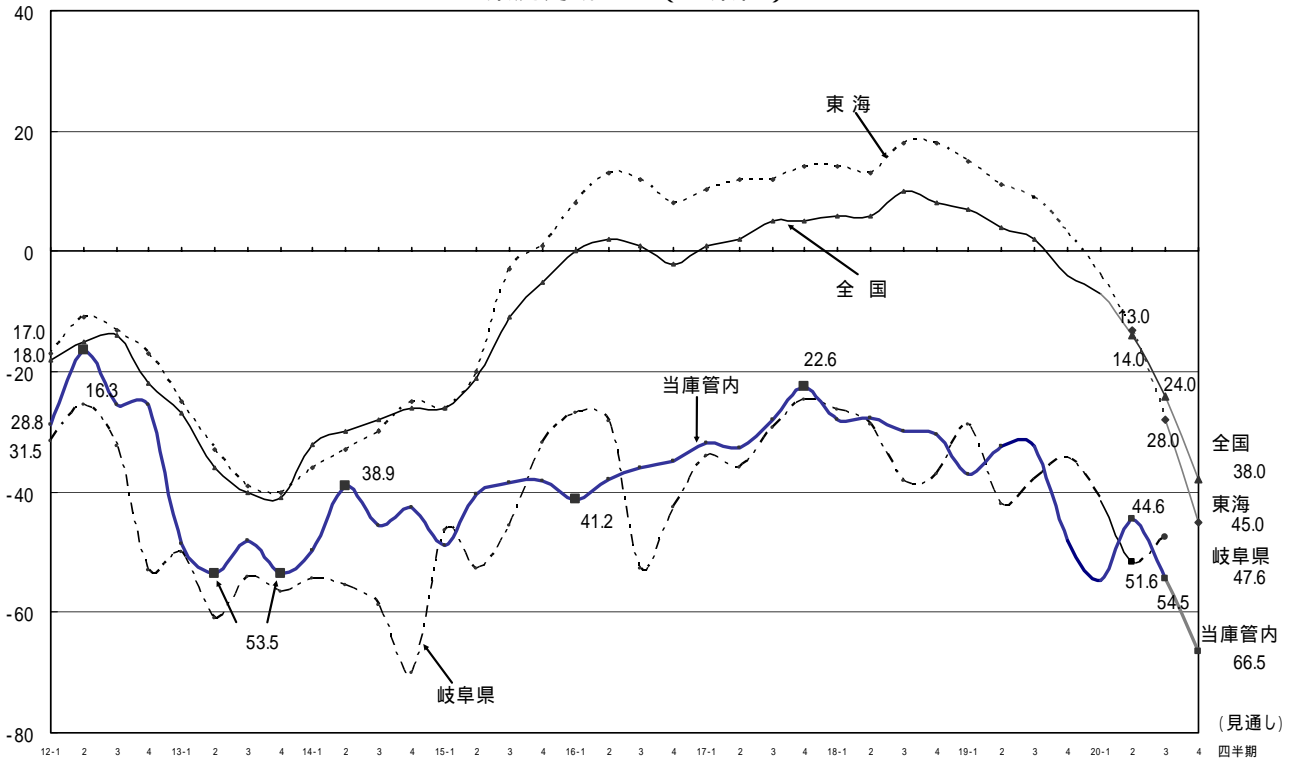
- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先を中心とした景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 232先  
(郡上市199社 下呂市19社 高山市・大野郡白川村14社)
- 調査時期 平成20年10月1日~12月31日
- 調査時点 平成20年12月26日時点
- 回収状況 配付数 232先(うち回収数167先) 回収率 72.0%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り  
(5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
- 補足調査 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 参考資料 有効求人倍率について
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス)
  - ・数値のほかグラフも掲載致しました。
  - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
  - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

# 1. 業況判断

全業種の業況判断D.I.(良い-悪い)は、今期(平成20年10~12月期) 54.5と前期(平成20年7~9月期)に比べ9.9ポイント悪化となりました。業種別では、飲食業、卸売業、農業、サービス業、建設業で改善が見られたものの、小売業で30ポイント以上悪化したのをはじめ、不動産業、製造業で悪化が見られました。地域内の業況は依然として厳しい状況が続いています。

来期(平成21年1~3月期)の業況判断見通しは、農業、小売業で改善しているもの、飲食業、建設業、製造業、不動産業、サービス業、卸売業で悪化しています。その結果、予想業況判断D.I.は 66.5と本調査開始以降最悪の水準となっています。

業況判断D.I.(全業種)



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店による。

## 業況判断

(%)

業種	H20年7月~9月(前期)				H20年10月~12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	17.0	24.5	56.6	39.6	20.0	16.0	64.0	44.0	12.0	12.0	76.0	64.0
卸売業	7.7	15.4	76.9	69.2	6.7	26.7	66.7	60.0	6.7	20.0	73.3	66.6
小売業	14.3	28.6	57.1	42.8	2.0	16.3	81.6	79.6	4.1	14.3	81.6	77.5
飲食業	9.1	27.3	63.6	54.5	25.0	12.5	62.5	37.5	12.5	12.5	75.0	62.5
サービス業	23.1	38.5	38.5	15.4	18.2	54.5	27.3	9.1	18.2	36.4	45.5	27.3
建設業	11.1	22.2	66.7	55.6	12.0	24.0	64.0	52.0	0.0	24.0	76.0	76.0
不動産業	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	40.0	60.0	60.0	0.0	20.0	80.0	80.0
農業	33.3	0.0	66.7	33.4	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	50.0	0.0
全業種	14.3	26.3	58.9	44.6	12.0	21.6	66.5	54.5	8.4	16.8	74.9	66.5

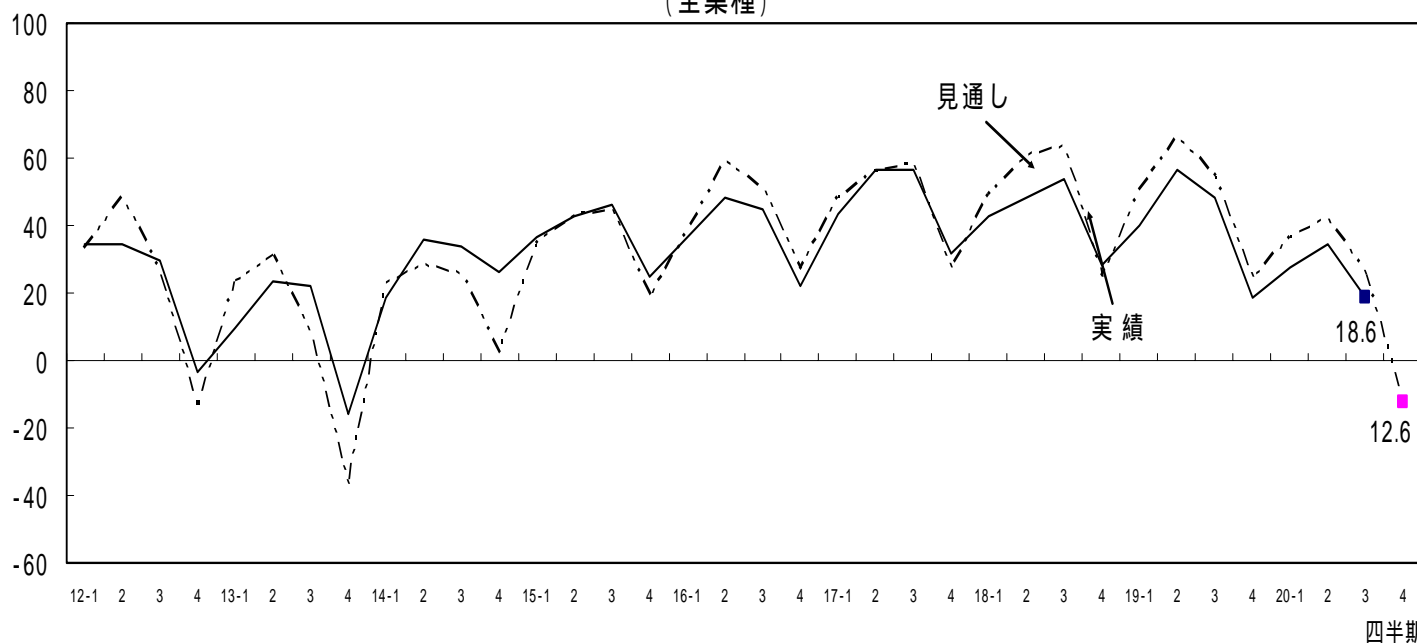
## 2. 売上・受注

### (1) 売上

建設業を除く売上額判断D.I.(増加-減少)は、今期18.6と前期34.8に比べ16.2ポイント悪化となりました。業種別では、農業、製造業、サービス業で改善となりましたが、小売業、不動産業、卸売業、飲食業で悪化となりました。

来期の見通しは、小売業で改善、サービス業で横這いとなるものの、農業、不動産業、製造業、飲食業、卸売業で悪化の見通しとなっており、その結果、予想売上判断D.I.は12.6と今期より31.2ポイントの大幅な悪化予想となり、7年ぶりのマイナスとなっています。

売上 D I  
(全業種)



売上

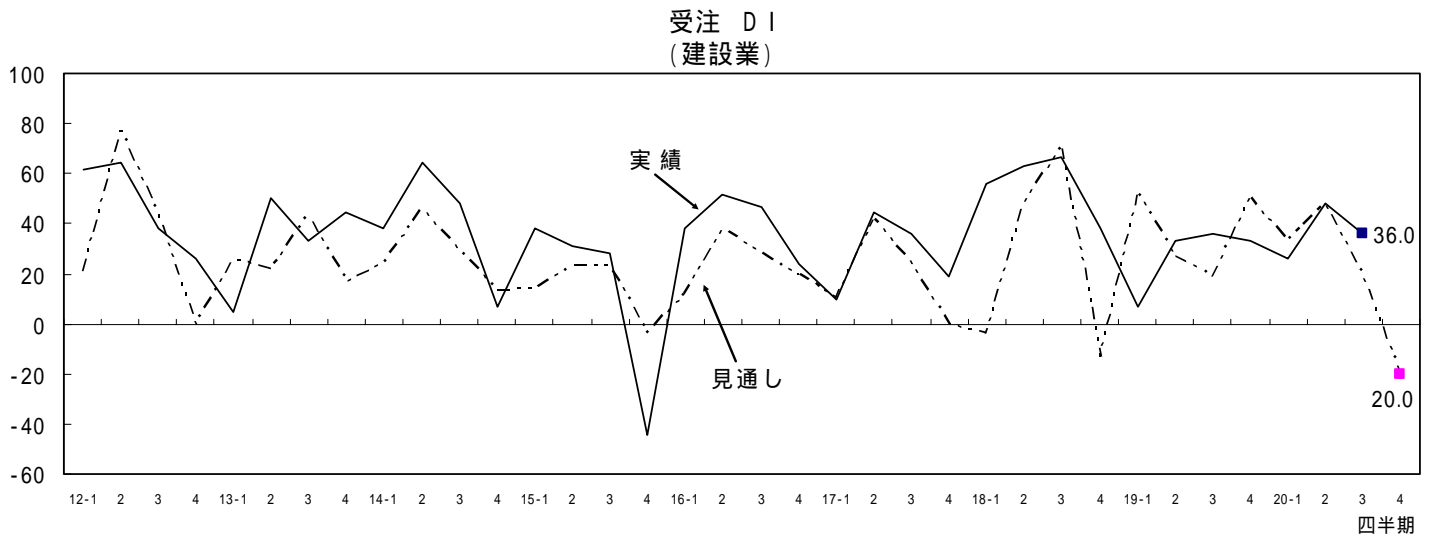
(%)

業種	H20年7月～9月(前期)			H20年10月～12月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	60.4	39.6	20.8	64.0	36.0	28.0	26.0	74.0	48.0
卸売業	69.2	30.8	38.4	53.3	46.7	6.6	33.3	66.7	33.4
小売業	53.1	46.9	6.2	28.6	71.4	42.8	32.7	67.3	34.6
飲食業	72.7	27.3	45.4	62.5	37.5	25.0	37.5	62.5	25.0
サービス業	61.5	38.5	23.0	63.6	36.4	27.2	63.6	36.4	27.2
不動産業	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0
農業	66.7	33.3	33.4	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0
全業種	67.4	32.6	34.8	59.3	40.7	18.6	43.7	56.3	12.6

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事12先）の受注判断D.I.（増加-減少）は、今期36.0と前期48.2に比べ12.2ポイント悪化となりました。

来期の見通しは、土木工事で72.6ポイント、建築工事で42.8ポイントの悪化見通しとなっており、来期の予想受注高判断D.I.は20.0と今期より56.0ポイントと「予想」としては2年ぶりに前期比マイナスの悪化予想となっています。



受注

(%)

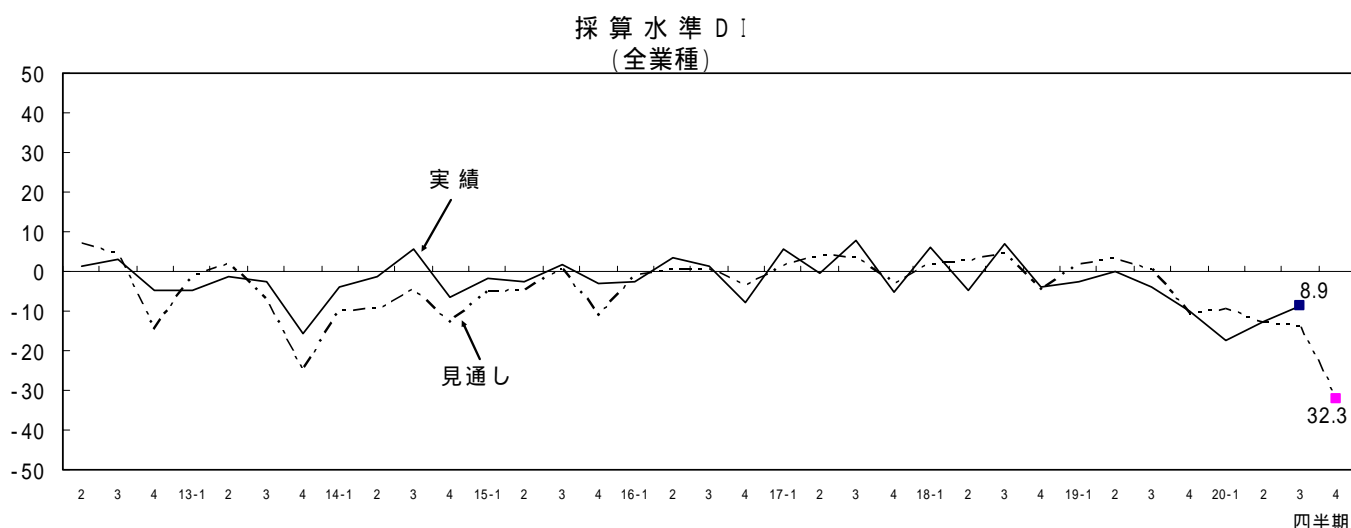
業種	H20年7月~9月(前期)			H20年10月~12月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業(受注)	74.1	25.9	48.2	68.0	32.0	36.0	40.0	60.0	20.0

### 3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.(黒字-赤字)は、今期 8.9と前期 12.6に比べ 3.7ポイント改善となりました。業種別では、飲食業、サービス業、小売業で悪化となりましたが、農業、製造業、卸売業、建設業、不動産業で改善となりました。

採算水準で赤字と回答された先にその原因をお聞きしたところ、サービス業、飲食業、小売業で売上の減少、製造業で原材料の高騰等によるコスト増が大きな要因との回答でした。また、「原材料の高騰等によって材料費が以前の2倍の価格に急騰した。」「材料費の高騰を販売価格に転嫁することが出来なかった。」等のコメントがありました。

来期の見通しは、サービス業で改善見通しとなっていますが、不動産業で横這い、製造業、飲食業、卸売業、農業、建設業、小売業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は調査開始以来最悪の 32.3と23.4ポイントの悪化予想となっています。



#### 採算水準

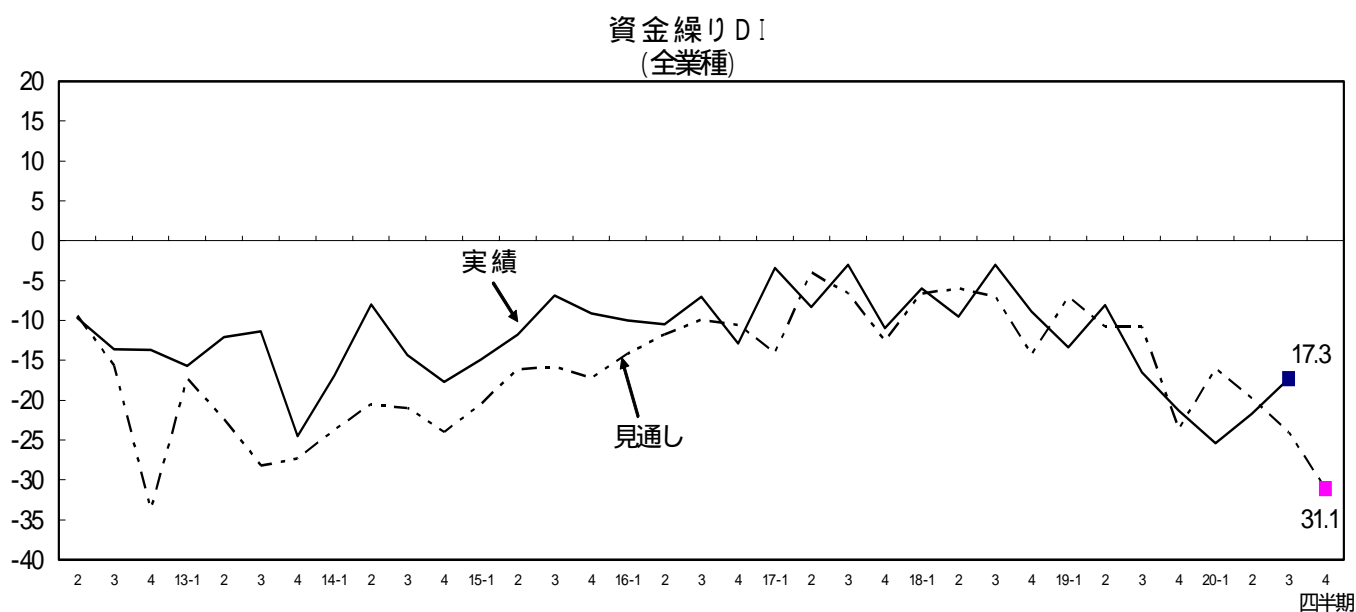
(%)

業種	H20年7月～9月(前期)				H20年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I
製造業	18.9	49.1	32.1	13.2	26.0	46.0	28.0	2.0	6.0	42.0	52.0	46.0
卸売業	15.4	46.2	38.5	23.1	13.3	60.0	26.7	13.4	6.7	46.7	46.7	40.0
小売業	12.2	57.1	30.6	18.4	16.3	44.9	38.8	22.5	14.3	40.8	44.9	30.6
飲食業	45.5	18.2	36.4	9.1	25.0	37.5	37.5	12.5	12.5	25.0	62.5	50.0
サービス業	38.5	30.8	30.8	7.7	27.3	45.5	27.3	0.0	27.3	54.5	18.2	9.1
建設業	18.5	48.1	33.3	14.8	16.0	60.0	24.0	8.0	4.0	60.0	36.0	32.0
不動産業	33.3	50.0	16.7	16.6	20.0	80.0	0.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0
農業	0.0	33.3	66.7	66.7	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全業種	20.0	47.4	32.6	12.6	20.4	50.3	29.3	8.9	10.2	47.3	42.5	32.3

## 4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.(好転-悪化)は、今期 17.3と前期 21.7に比べ4.4ポイントの改善となりました。業種別では、サービス業、小売業で悪化となりましたが、不動産業、農業、卸売業、建設業、飲食業、製造業で改善となりました。

来期の見通しは、サービス業で改善となる見通しですが、農業、製造業、不動産業、建設業、卸売業、飲食業、小売業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想資金繰り判断D.I.は 31.1と13.8ポイントの悪化予想となっています。



資金繰り

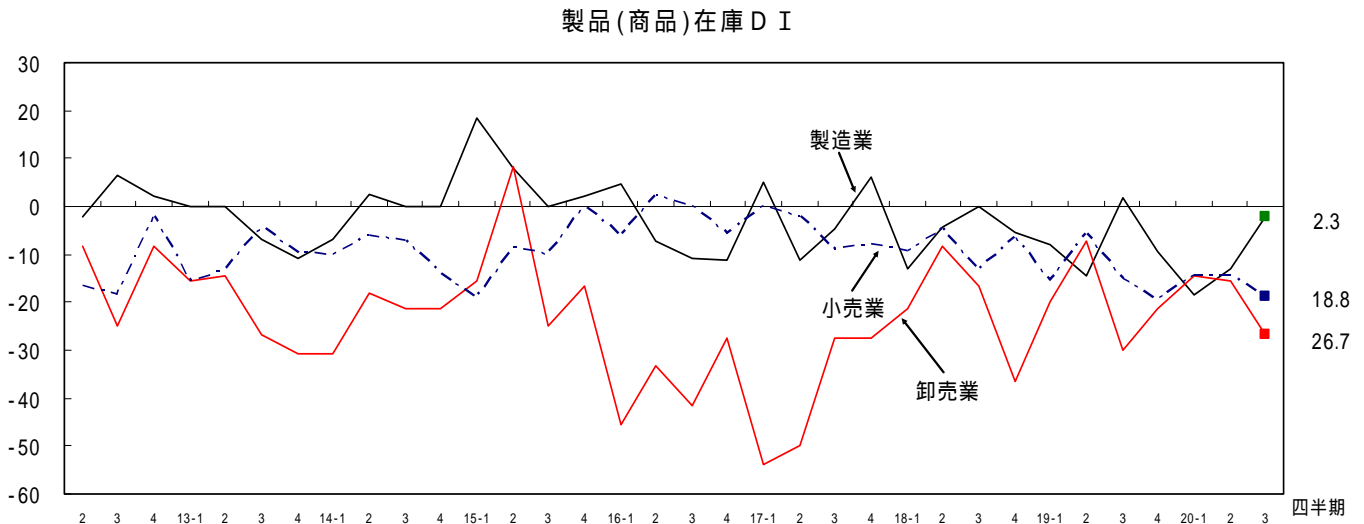
(%)

業種	H20年7月～9月(前期)				H20年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製造業	5.7	75.5	18.9	13.2	8.0	74.0	18.0	10.0	4.0	58.0	38.0	34.0
卸売業	7.7	46.2	46.2	38.5	6.7	66.7	26.7	20.0	0.0	66.7	33.3	33.3
小売業	8.2	65.3	26.5	18.3	4.1	67.3	28.6	24.5	2.0	63.3	34.7	32.7
飲食業	0.0	63.6	36.4	36.4	12.5	50.0	37.5	25.0	12.5	37.5	50.0	37.5
サービス業	7.7	76.9	15.4	7.7	0.0	81.8	18.2	18.2	18.2	63.6	18.2	0.0
建設業	3.7	55.6	40.7	37.0	12.0	52.0	36.0	24.0	4.0	52.0	44.0	40.0
不動産業	0.0	83.3	16.7	16.7	20.0	80.0	0.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0
農業	0.0	66.7	33.3	33.3	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0
全業種	5.7	66.9	27.4	21.7	7.8	67.1	25.1	17.3	4.8	59.3	35.9	31.1

## 5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D.I.（不足 - 過大）は、製造業で 2.3と10.8ポイント改善となりましたが、卸売業で 26.7と11.3ポイント、小売業で 18.8と4.2ポイントそれぞれ悪化となりました。

製造業は在庫不足と感じている割合が上昇し、適正感と過大感が低下しました。卸売業は適正感と不足感が減少し、過大感が上昇しました。小売業は不足感が低下し、過大感が上昇しました。



製品(商品)在庫

(%)

業 種	H20年7月～9月(前期)				H20年10月～12月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製 造 業	6.5	73.9	19.6	13.1	13.6	70.5	15.9	2.3
卸 売 業	15.4	53.8	30.8	15.4	13.3	46.7	40.0	26.7
小 売 業	14.6	56.3	29.2	14.6	12.5	56.3	31.3	18.8

## 6. 設備投資

設備投資に関しては、今期「行った」とする割合が20.4%と前期に比べ4.7ポイント減少しました。

今期の投資目的としては、「事業用土地・建物」が9件と最も多く、続いて「機械・設備の新・増設」、「車輛」が8件、「事務機器」が5件、「機械・設備の更改」が3件、「その他」が1件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は7.2%と今期より13.2ポイント低下する見込みです。

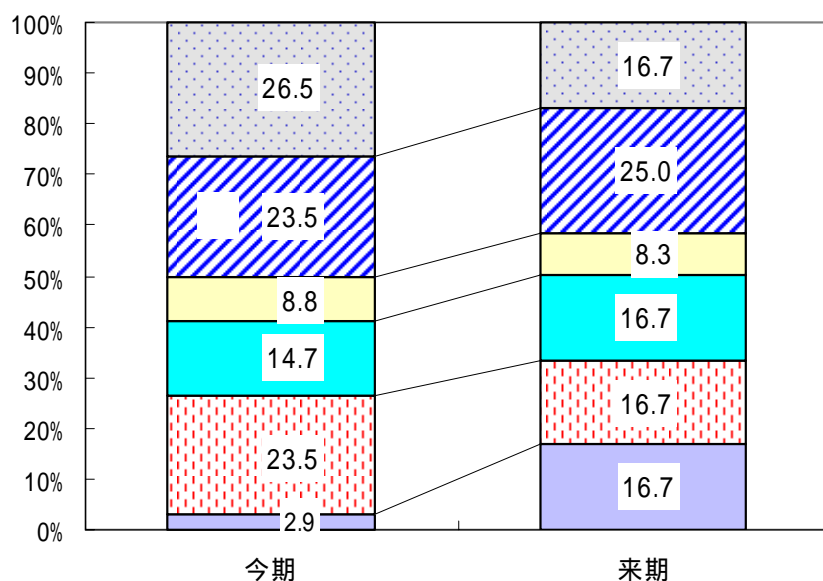
設備投資

(%)

業種	H20年7月～9月(前期)		H20年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	22.6	77.4	20.0	80.0	8.0	92.0
卸売業	15.4	84.6	33.3	66.7	20.0	80.0
小売業	22.4	77.6	18.4	81.6	4.1	95.9
飲食業	54.5	45.5	0.0	100.0	12.5	87.5
サービス業	46.2	53.8	36.4	63.6	9.1	90.9
建設業	18.5	81.5	20.0	80.0	0.0	100.0
不動産業	33.3	66.7	20.0	80.0	0.0	100.0
農業	0.0	100.0	0.0	100.0	25.0	75.0
全業種	25.1	74.9	20.4	79.6	7.2	92.8

投資目的

区分	H20年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	9	26.5	2	16.7
機械・設備の新・増設	8	23.5	3	25.0
機械・設備の更改	3	8.8	1	8.3
事務機器	5	14.7	2	16.7
車輛	8	23.5	2	16.7
その他	1	2.9	2	16.7
合計	34	100.0	12	100.0



## 7. 経営上の問題点

経営上の問題点に関しては、売上の停滞・減少とする回答割合が61.1%と最も多く、次に利幅の縮小が15.0%、その他7.2%、販売価格の不安定4.8%、問題なし4.2%と続き、景気見通しは依然後退局面にある事を示しています。

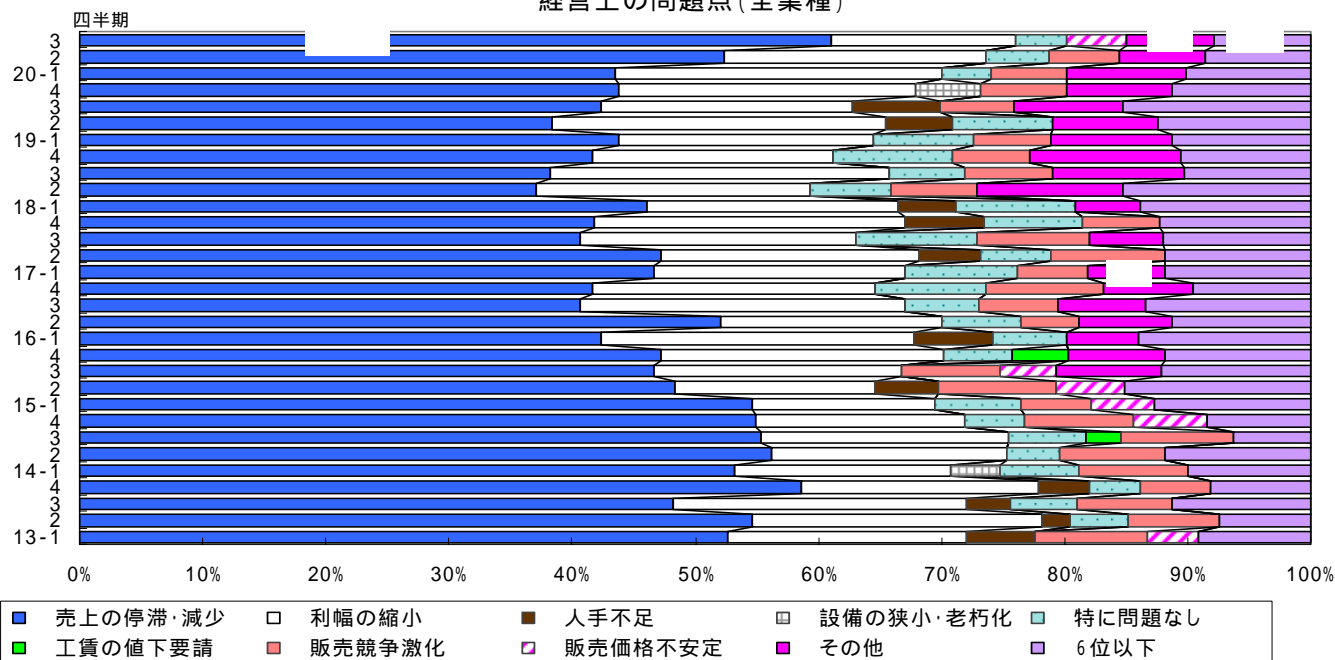
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上の停滞・減少」と2位の「利幅の縮小」は全体の76.1%を占めており、特に「売上の停滞・減少」は、前期より9.1ポイント増加しており景気の後退が懸念されます。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 68.0	利幅の縮小 12.0	問題なし 6.0	販売競争激化 4.0	その他 4.0
卸売業	売上の停滞・減少 60.0	利幅の縮小 20.0	人手不足 6.7	販売競争激化 6.7	問題なし 6.7
小売業	売上の停滞・減少 61.2	利幅の縮小 16.3	販売価格の不安定 8.2	販売競争激化 6.1	その他 4.1
飲食業	売上の停滞・減少 62.5	その他 25.0	問題なし 12.5		
サービス業	売上の停滞・減少 63.6	問題なし 18.2	利幅の縮小 9.1	設備狭小・老朽化 9.1	
建設業	売上の停滞・減少 60.0	その他 20.0	利幅の縮小 16.0	販売価格の不安定 4.0	
不動産業	売上の停滞・減少 40.0	販売価格の不安定 40.0	その他 20.0		
農業	利幅の縮小 75.0	人手不足 25.0			
全業種	売上の停滞・減少 61.1	利幅の縮小 15.0	その他 7.2	販売価格の不安定 4.8	問題なし 4.2

経営上の問題点(全業種)



(%)

区分	17-3	4	18-1	2	3	4	19-1	2	3	4	20-1	2	3
売上の停滞・減少	40.1	40.3	46.1	37.1	38.1	40.0	43.8	38.4	42.3	43.9	43.5	52.0	61.1
利幅の縮小	22.2	24.3	20.4	22.4	27.4	18.8	20.6	27.0	20.3	24.1	26.6	21.1	15.0
その他	6.0	-	5.4	11.8	10.7	11.8	9.8	8.6	8.8	8.6	9.6	6.9	7.2
販売価格の不安定	9.6	7.7	9.6	6.5	6.0	9.4	8.2	8.1	-	-	-	-	4.8
特に問題なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	5.1	4.2
販売競争激化	9.0	6.1	-	7.1	7.1	5.9	6.2	-	6.0	7.0	6.2	5.7	-
人手不足	-	6.1	4.8	-	-	-	-	5.4	7.1	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」は6以下を示しています。

## 8. 業況の回復時期

業況の回復時期に関しては、「平成21年4～6月」が7.8%と最も多く、次いで「平成21年10月～平成22年3月以降」、「平成22年4月以降」が3.6%となっております。

しかし「わからない」との回答が82.0%と最も多く、依然として先行き不透明感が強く出ています。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	平成21年1～3月	4～6月	7～9月	平成21年10月～平成22年3月	4月以降	わからない
製造業	50	0.0	2.0	10.0	0.0	4.0	0.0	84.0
卸売業	15	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	0.0	73.3
小売業	49	0.0	0.0	10.2	2.0	2.0	4.1	81.6
飲食業	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サービス業	11	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	63.6
建設業	25	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	92.0
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
農業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
全業種	167	0.0	0.6	7.8	2.4	3.6	3.6	82.0

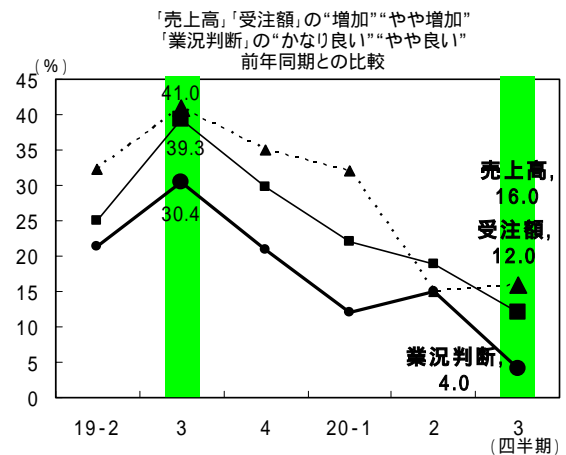
## 補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第3四半期)との比較調査を每期実施しております。

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数56先)は“増加”“やや増加”の回答が41.0%(23先)に対し、今期(回答数50先)は16.0%(8先)と25.0ポイント減少、「受注額」では同様39.3%(22先)に対し、12.0%(6先)と27.3ポイント減少となっております。

「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が30.4%(17先)に対して、今期は4.0%(2先)と26.4ポイント減少となっております。

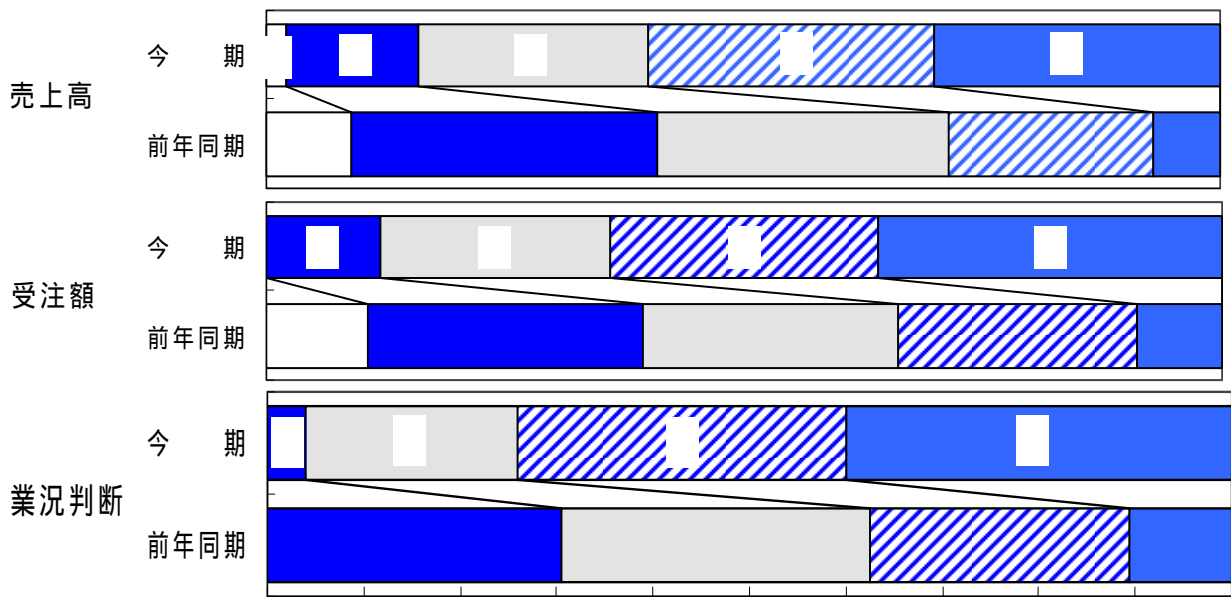
製造業は「業況判断」「売上高」「受注額」ともに前年同期よりポイントが減少しています。



<製造業>

(先、%)

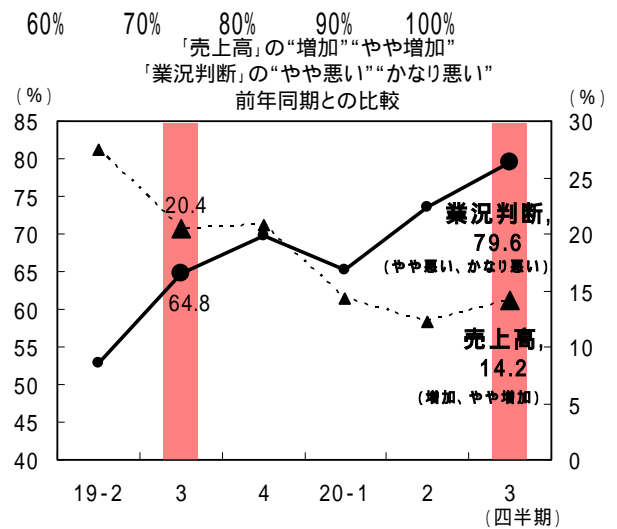
区分	売上高		受注額		区分	業況判断							
	19年10～12月	20年10～12月	19年10～12月	20年10～12月		19年10～12月	20年10～12月						
増加	5	8.9	1	2.0	6	10.7	0	0.0	かなり良い	0	0.0	0	0.0
やや増加	18	32.1	7	14.0	16	28.6	6	12.0	やや良い	17	30.4	2	4.0
変わらず	17	30.4	12	24.0	15	26.8	12	24.0	良くも悪くも	18	32.1	11	22.0
やや減少	12	21.4	15	30.0	14	25.0	14	28.0	やや悪い	15	26.8	17	34.0
減少	4	7.1	15	30.0	5	8.9	18	36.0	かなり悪い	6	10.7	20	40.0
合計	56	100.0	50	100.0	56	100.0	50	100.0	合計	56	100.0	50	100.0



小売業の「売上高」では前年同期（回答数54先）は“増加”“やや増加”の割合が20.4%（11先）に対し、今期（回答数49先）は14.2%（7先）と6.2ポイント減少となっています。

「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が64.8%（35先）であったのに対し、今期は79.6%（39先）と前年同期に比べ14.8ポイント増加となっています。

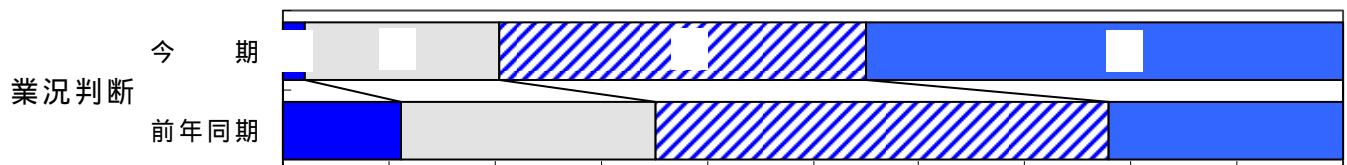
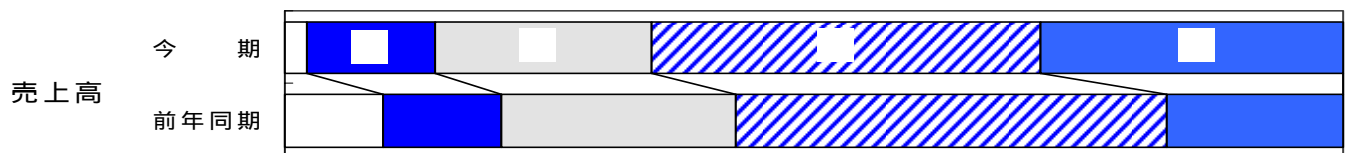
小売業の業況改善に見通しが立たない事から、依然として、地域内における個人消費の停滞感がうかがえます。



< 小売業 >

(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	19年10~12月		20年10~12月			19年10~12月		20年10~12月	
増加	5	9.3	1	2.0	かなり良い	0	0.0	0	0.0
やや増加	6	11.1	6	12.2	やや良い	6	11.1	1	2.0
変らず	12	22.2	10	20.4	良くも悪くもない	13	24.1	9	18.4
やや減少	22	40.7	18	36.7	やや悪い	23	42.6	17	34.7
減少	9	16.7	14	28.6	かなり悪い	12	22.2	22	44.9
合計	54	100.0	49	100.0	合計	54	100.0	49	100.0



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

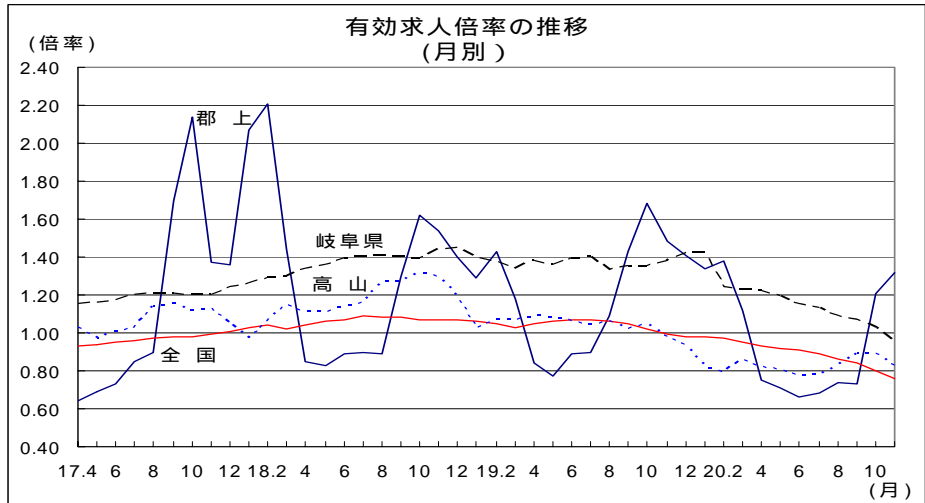
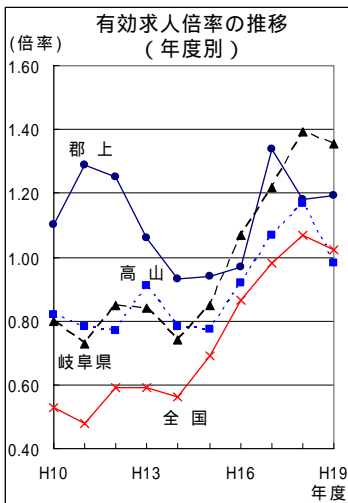
## 有効求人倍率について

岐阜八幡(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の11月の有効求人倍率は、1.32倍で前月比0.11ポイント増加、前年同月比で0.16ポイント減少となりました。新規求人数は241人、前年同月比50人増となりました。高山管内の11月の同倍率は0.83倍で、前月比0.06ポイント減少、前年同月比0.15ポイント減少となりました。新規求人数は753人、前年同月比69人減となりました。

また、全国および岐阜県の11月の有効求人倍率は、全国が前月比0.04ポイント減少の0.76倍、岐阜県は前月比0.07ポイント減少の0.96倍となりました。

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
郡上	1.10	1.29	1.25	1.06	0.93	0.94	0.97	1.33	1.18	1.19
高山	0.82	0.78	1.00	0.90	0.77	0.77	0.92	1.07	1.17	0.98
岐阜県	0.76	0.74	0.89	0.78	0.74	0.84	1.07	1.21	1.39	1.35
全国	0.50	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.99	1.07	1.02

有効求人倍率

区分	18.4	5	6	7	8	9	10	11	12	19.1	2	3
郡上	0.85	0.83	0.89	0.90	0.89	1.30	1.62	1.54	1.40	1.29	1.43	1.18
高山	1.11	1.11	1.14	1.16	1.27	1.27	1.32	1.30	1.19	1.03	1.07	1.07
岐阜県	1.34	1.36	1.39	1.40	1.41	1.40	1.39	1.44	1.45	1.40	1.37	1.34
全国	1.04	1.06	1.07	1.09	1.08	1.08	1.07	1.07	1.07	1.06	1.05	1.03

区分	19.4	5	6	7	8	9	10	11	12	20.1	2	3
郡上	0.84	0.77	0.89	0.90	1.09	1.43	1.68	1.48	1.41	1.34	1.38	1.12
高山	1.09	1.08	1.06	1.04	1.06	1.02	1.05	0.98	0.93	0.82	0.79	0.86
岐阜県	1.38	1.36	1.39	1.40	1.33	1.35	1.35	1.38	1.42	1.42	1.24	1.23
全国	1.05	1.06	1.07	1.07	1.06	1.05	1.02	0.99	0.98	0.98	0.97	0.95

区分	20.4	5	6	7	8	9	10	11
郡上	0.75	0.71	0.66	0.68	0.74	0.73	1.21	1.32
高山	0.82	0.81	0.77	0.78	0.83	0.89	0.89	0.83
岐阜県	1.22	1.19	1.15	1.13	1.09	1.07	1.03	0.96
全国	0.93	0.92	0.91	0.89	0.86	0.84	0.80	0.76